

教育課程編成委員会外部委員の意見への対応

意見の集約と総括	平成28年度の重点目標
<p>意見の集約</p> <p>1 総合的な能力（人間力）の向上が必要 ・保育者は子どものモデリングの対象である ・自ら向上を目指す姿勢が必要</p> <p>① 人と係わる力の育成 ・コミュニケーション能力 ・カウンセリングマインド ・感情コントロール能力 ・自己抑制力、 ・人権感覚</p> <p>② 社会人としての知識・教養や生活態度・習慣 ・清潔感 ・掃除能力 ・挨拶の習慣</p> <p>③ 自ら問題意識を持ち意欲的に自己成長を志向する態度や困難に立ち向かう態度の育成 ・自己肯定感や自己効力感の醸成、 ・実行力の育成</p> <p>2 専門的な知識の習得と実践力の育成が重要</p> <p>① シラバスの検討 ② 授業内容の妥当性の検討 ③ 保育現場とつながった内容重視 ④ 学生の意欲を喚起する授業方法の研究</p> <p>3 卒業時の最終の姿の明確化が必要</p> <p>① 目標の明確化 ② 目標に迫るステップの見直し ③ 教育課程の見直し ④ 教員の授業力・指導力の向上</p>	<p>キーワード</p> <p>人間力とは 実践力とは 社会人としての知識・教養・行動規範 問題意識をもって学び続ける保育者 自己肯定感 自己効力感 実践力を育てる教育課程とは 意欲的に学び行動する学生の育成 企業（保育現場）との連携 授業方法の検討 授業技術の向上（アクティブラーニング） 教員研修の充実 教育現場の実態 滝子幼稚園・たきこ幼稚園の方針理解 保専での養成と現場での養成のつながり</p>
<p>今後本校が取り組む課題</p> <p>1 本校での教育目標を具体像で示す →</p> <p>2 その具体像をふまえて教育課程を見直す ・シラバス、実習方法・時期、学校行事等 →</p> <p>3 学生の学ぶ意欲を向上させる。 ・学生が主体的に学ぶ授業方法への改善 →</p> <p>4 教員の指導力向上を図る →</p>	<p>平成28年度の重点目標</p> <p>1 実践力・人間力の分析と具体化 ・今後、両園のスタッフを交えて討議をする ・両園勤務の卒業生を事例に検討する（卒業後の養成を含めた検討）</p> <p>2 職業実践専門課程を踏まえた教育課程の改善 (1) 教育課程・シラバスの見直し ・職業実践専門課程にふさわしい教育課程に変更していく（教員免許を考慮） ☆スタッフミーティングを実施する ・入学式後に実施 ・分野別グループでの意見交換 (2) 実習指導全体計画の見直し ☆実習の実施時期の見直し ☆プレ実習の導入 ・方法の見直し不十分 ・各実習目標の吟味</p> <p>3 授業方法の改善を進める ☆企業との連携した授業（教職実践演習への両園管理職の参加） ・滝子幼稚園、たきこ幼稚園の利用促進</p> <p>4 教員研修の充実 ・アクティブラーニングの研修</p>